

## 環境振動運営委員会 議事録（案）

A. 日 時 2013年04月15日 月曜日 17:30～19:30

B. 場 所 建築学会会議室

C. 出席者 横山主査 他 10名

### D. 提出資料（提出委員名）

- No.1-01 前回議事録案
- No.1-02 環境工学本委員会報告
- No.1-03 環境工学本委員会報告抜粋 2013年度プログラム編成方針案
- No.1-04 環境工学本委員会報告抜粋 2013年度調査研究委員会予算配分案
- No.1-05 環境工学本委員会報告抜粋東日本大震災関連WG等の進捗状況報告
- No.1-06 環境工学本委員会報告抜粋 2013年度大会環境工学部門案
- No.1-07 環境工学本委員会報告抜粋環境振動運営委員会他予算執行状況
- No.1-08 環境振動評価小委員会活動報告
- No.1-09 居住性能評価指針検討WG
- No.1-10 環境振動測定分析小委員会活動報告
- No.1-11 環境振動制御技術小委員会活動報告
- No.1-12 環境振動運営委員会 web トップページ
- No.1-13 環境振動運営委員会議事録ページ

### E. 議事内容

#### 0. 前回議事録確認（資料 No.1-01）

- ・運営委員会名簿 → 氏名を修正
- ・企画検討WG名簿 → 氏名を修正

#### 1. 環境工学本委員会報告

##### 2/19 環境工学本委員会（資料 No.1-02）

- 1-1 2012年度日本建築学会大会(東海)概要報告
  - 環境工学 1,283名(発表) 2,909名(発表者以外)
  - 全体 6,777名(発表) 13,729名(発表者以外)
- 1-2 2012年度大会(東海)研究集会等の参加者
  - 環境工学 283名(参加者) 500部(搬入数) 498部(領布部数)
  - 講演者の登録費未納者が47名(実名発表)
- 1-3 報告事項
  - ・2013年度以降は国際交流振興基金による援助事業の公募は行わない。
  - ・大会学術講演会プログラム編成会議委員は経費節減より旅費の必要の無い委員を選任のこと。
  - ・2013年度大会講演会プログラム編成方針案(資料 No.1-03 参照)
  - ・障害のある委員に対しての情報保障(手話)として10万円を予算化。
  - ・2013年度特別研究テーマ選考結果
    - ① 地域風土に合った伝統的な木造住宅の温熱環境形成と省エネルギー
  - ・2013年度若手奨励特別研究テーマ選考結果
    - ① 都市全体の価値向上に寄与する空間更新手法「TRADE」の開発研究
    - ② 次世代の構造系解析インターフェース

- ・ 2013 年度技術部門設計競技提案  
環境工学委員会の提案は具体性を求められ今回は見送りとなった。  
「次世代に継ぐ住宅の再建計画」農村計画委員会が採択された。
- ・ 2013 年度予算配分が決定した。(資料 No.1-04 参照)
- ・ 日本建築学会の活動の活性化に向けた取り組み
  - ① インターネット会議の推進
  - ② ペーパーレス化
  - ③ 委員会旅費・宿泊費の節約
- ・ 東日本大震災関連 WG 等の進捗状況報告(資料 No.1-05 参照)
- ・ 2013 年度大会環境工学部門(資料 No.1-06 参照)
- ・ 環境振動運営委員会他予算執行状況(資料 No.1-07 参照)

#### 1-4 審議事項

(委員推薦)

- ・ 学会賞 檜崎正也先生
- ・ 奨励賞 村川三郎先生,羽山広文先生
- ・ 論文集委員会委員 環境振動からは佐野先生を推薦した。

#### 1-5 委員長選挙結果

- ・ 環境工学本委員会委員長に田辺新一先生が選出された。

### 2. 各小委員会・WG 活動報告

#### 2-1. 評価小委員会 (資料 No.1-08)

- ・ 03/21 開催分について、資料に基づく報告があった。
- ・ 4 年間の活動の総括として、説明性 WT,広域実測 WT,データベース WT,評価 WT の「要望と提案」をまとめた。
- ・ 「環境振動評価小委員会 2009-2012 活動まとめ」を新藤幹事より提出された。
- ・ 次期主査、次期幹事を決定した。
- ISO の動向について、建築学会としてコンタクトが取れていない。次期主査から情報発信していただき,ISO2631 TC108 SC4 に参画していく必要がある。
- ISO2631-2 が本年度見直し時期であり,委員に意見を求める。

#### 2-2. 居住性能評価指針検討 WG (資料 No.1-09 )

- ・ 03/19 開催分について、資料に基づく報告があった。
- ・ 枠組みについては完了し、これから指針の改定に入るため,5 名のメンバーを増強することで承認された。
- ・ 振動の方向,測定対象,時間要素で集積した知見を整理する。

#### 2-3. 測定分析小委員会 (資料 No.1-10 )

- ・ 03/07 開催分について、資料に基づく報告があった。
- ・ 環境振動測定方法についてのアンケート結果を,大会論文として 2 編投稿した。

#### 2-4. 制御技術小委員会 (資料 No.1-11)

- ・ 03/14 開催分について、資料に基づく報告があった。
- ・ ブラインド解析：初めは歩行振動を加振源としたが,単位加振源とすることでバラつきが少なくなった。
- ・ 2000 年以降の「活動報告」を作成するが,顧客情報も入っているため,委員会の内部資料としたい。

#### 2-5. 広報 WG (資料 No.1-12,13)

- ・ web データの資料に基づく報告があった。
- ・ 各委員会,WG の議事録を収録してあるので,未提出の議事録は至急提出されたい。

#### 2-6. 設計小委員会 (資料なし)

- ・ 建築学会の性能設計の枠組みと ISO では、大きな違いがある。今後の居住性能評価指針のあり方として、設計指針と評価指針を棲み分ける方向はコンセンサスが得られているが、そのうち設計指針と性能設計の枠組みとのドッキングについて、主査を中心に検討してゆく。

### 3. その他

- ・ 古田氏より環境振動運営委員会の退会の依頼があり、承認された。
- ・ 予算配分 環境振動運営委員会 84,000  
環境振動測定小委員会 40,000  
環境振動評価小委員会 40,000  
環境振動制御小委員会 20,000  
環境振動設計小委員会 20,000
- ・ 3/8 清水建設新社屋の見学会があった。本委員会より7名の参加者があり、桁ダンパーが注目された。
- ・ 第32回環境振動シンポジウムの題材の検討に入る時期であり、早急を実施すること。
- ・ 年間開催予定  
1回目 2013年04月15日(月) 17:30~20:00 建築会館  
2回目 2013年07月01日(月) 17:30~  
3回目 2013年09月30日(月) 17:30~  
4回目 2013年12月02日(月) 17:30~  
5回目 2014年01月31日(金) 10:30~12:00  
同日 第32回環境振動シンポジウム 13:30~18:00

以上